



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 堀田丸正株式会社
コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成29年11月14日 開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,781	9.6	27	366.3	24	211.1	11	—
29年3月期第2四半期	3,450	6.4	5	—	7	—	△4	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 14百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.30	—
29年3月期第2四半期	△0.21	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	6,696	4,654	69.5	82.75
29年3月期	4,460	2,821	63.3	132.82

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,654百万円 29年3月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	0.2	111	28.3	110	1.2	75	△13.6	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年6月28日付で第三者割当増資を実施し、新株式を発行しております。平成30年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、新株式発行後の株式数で算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	59,640,348 株	29年3月期	24,640,348 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,395,568 株	29年3月期	3,395,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	39,414,239 株	29年3月期2Q	22,940,687 株

※平成28年10月1日を効力日として当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政治動向や北朝鮮情勢への警戒感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成29年6月にRIZAPグループ株式会社の子会社となり、平成29年7月には洋装事業において百貨店取引を中心とした婦人服卸の馬里邑事業部を新設しました。既存事業では厳しい環境が続いておりますが、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部や馬里邑事業部が寄与したことにより、売上高は37億81百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は27百万円（前年同四半期比366.3%増）、経常利益は24百万円（前年同四半期比211.1%増）、株式会社西田武生デザイン事務所の株式を売却したことによる関係会社売却益、事業所の統合及びシステムの統合に係る構造改革費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

和装事業は、専門店取引は堅調に推移しましたが、百貨店取引は店舗閉鎖の影響や市況の悪化により低調に推移、和装小物の量販店取引も大手得意先の不振により売上高は減少いたしました。販管費の削減を行い改善に努めましたが営業損失となりました。この結果、売上高9億83百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

寝装事業は、ギフト販売は順調に推移しましたが、量販店・専門店取引は大手得意先の不振により売上高は減少いたしました。粗利率の改善、販管費の削減を行いました減益となりました。この結果、売上高2億80百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は12百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

洋装事業は、平成29年7月に新設した馬里邑事業部が寄与し売上高、営業利益ともに大幅に伸びました。既存事業の百貨店取引は店舗閉鎖の影響や市況の悪化により低調に推移しましたが、専門店取引は堅調に推移、量販店取引はベビー子供服の大手得意先が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、不採算部門の閉鎖、粗利率の改善、販管費の削減により営業利益は大きく改善いたしました。この結果、売上高15億21百万円（前年同四半期比28.7%増）、営業利益は77百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

意匠捺糸事業は、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部が寄与し売上高、営業利益ともに伸びました。国内既存事業は、大手アパレル向けの販売が改善し堅調に推移、中国市場は欧州向けの取引が減少しましたが、中国国内向け、日本市場向けが伸び増収増益となりました。この結果、売上高9億95百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は67百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は57億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億49百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が12億21百万円、電子記録債権が2億38百万円、商品及び製品が7億16百万円増加したことによるものであります。固定資産は9億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に長期貸付金が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は66億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億36百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は19億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億21百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1億95百万円減少し、支払手形及び買掛金が6億13百万円増加したことによるものであります。固定負債は51百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は20億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は46億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億33百万円増加いたしました。これは主に新株式発行による資本金9億62百万円及び資本剰余金9億62百万円の増加と剰余金の配当1億6百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ12億21百万円増加し、17億10百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は、4億37百万円（前年同四半期は37百万円の増加）となりました。

これは主に売上債権の増加2億8百万円、たな卸資産の増加7億38百万円、仕入債務の増加6億20百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は、58百万円（前年同四半期は44百万円の減少）となりました。

これは主に貸付金回収による収入64百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は、16億円（前年同四半期は1億30百万円の減少）となりました。

これは主に株式発行による収入19億25百万円、短期借入金の減少1億95百万円、配当金の支払額1億5百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月13日に公表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、平成29年11月1日付で当社のタケオニシダ事業をタケオニシダ・ジャパン株式会社へ譲渡を行い、事業の整理に伴い発生した損失27百万円を特別損失に計上いたしますが、平成29年11月7日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」において、平成30年3月期第2四半期連結業績の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を上方修正しております。

これにより今回計上いたします特別損失の影響は軽微となりますので、平成30年3月期の通期連結業績予想は修正いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	488,209	1,710,152
受取手形及び売掛金	1,332,736	1,571,392
電子記録債権	181,311	148,880
商品及び製品	1,337,729	2,054,665
仕掛品	18,890	17,010
原材料及び貯蔵品	61,623	82,960
前払費用	39,304	32,518
短期貸付金	24,191	80
未収入金	16,487	89,762
未収消費税等	—	52,989
未収還付法人税等	18,051	—
その他	7,908	13,800
貸倒引当金	△23,178	△21,723
流動資産合計	3,503,269	5,752,486
固定資産		
有形固定資産	556,498	554,993
無形固定資産	22,942	25,870
投資その他の資産		
投資有価証券	83,999	92,305
長期貸付金	41,912	1,337
敷金及び保証金	72,720	73,364
破産更生債権等	60,359	60,059
長期前払費用	11,150	32,385
その他	170,908	166,882
貸倒引当金	△63,470	△62,890
投資その他の資産合計	377,580	363,444
固定資産合計	957,021	944,308
資産合計	4,460,291	6,696,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	766,257	1,380,010
電子記録債務	293,120	297,754
短期借入金	195,000	—
1年内返済予定の長期借入金	47,760	41,210
リース債務	5,086	5,087
未払法人税等	39,248	23,177
未払消費税等	17,199	4,647
賞与引当金	12,000	10,000
返品調整引当金	33,308	25,894
前受金	9,700	—
その他	149,917	202,507
流動負債合計	1,568,599	1,990,289
固定負債		
長期借入金	15,080	—
長期未払金	34,899	31,910
リース債務	7,087	4,565
繰延税金負債	12,245	14,645
資産除去債務	635	637
固定負債合計	69,948	51,758
負債合計	1,638,548	2,042,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	2,937,570
資本剰余金	273,652	1,236,152
利益剰余金	923,603	829,214
自己株式	△389,421	△389,475
株主資本合計	2,782,904	4,613,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,306	32,741
為替換算調整勘定	11,531	8,542
その他の包括利益累計額合計	38,837	41,284
純資産合計	2,821,742	4,654,746
負債純資産合計	4,460,291	6,696,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,450,635	3,781,436
売上原価	2,312,946	2,563,563
売上総利益	1,137,688	1,217,873
販売費及び一般管理費	1,131,697	1,189,936
営業利益	5,990	27,936
営業外収益		
受取利息	972	373
受取配当金	1,346	1,396
為替差益	—	5,897
受取賃貸料	3,817	8,636
助成金収入	7,800	—
その他	2,213	1,718
営業外収益合計	16,149	18,022
営業外費用		
支払利息	2,819	1,934
手形売却損	820	789
為替差損	7,604	—
賃貸費用	2,937	4,479
株式交付費	—	9,450
その他	40	4,670
営業外費用合計	14,222	21,324
経常利益	7,917	24,635
特別利益		
関係会社株式売却益	—	25,642
特別利益合計	—	25,642
特別損失		
構造改革費用	—	28,279
特別損失合計	—	28,279
税金等調整前四半期純利益	7,917	21,998
法人税、住民税及び事業税	12,633	10,161
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	12,634	10,162
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,716	11,835
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,716	11,835

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,716	11,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,396	5,435
為替換算調整勘定	△15,499	△2,988
その他の包括利益合計	△21,896	2,446
四半期包括利益	△26,612	14,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,612	14,282

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,917	21,998
減価償却費	12,527	11,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,717	△2,033
賞与引当金の増減額 (△は減少)	700	△2,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,307	△7,414
受取利息及び受取配当金	△2,318	△1,770
支払利息	2,819	1,934
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△25,642
売上債権の増減額 (△は増加)	89,961	△208,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	56,329	△738,543
仕入債務の増減額 (△は減少)	△73,766	620,687
長期未払金の増減額 (△は減少)	898	△2,989
その他	△21,892	△79,537
小計	64,151	△412,030
利息及び配当金の受取額	2,318	1,770
利息の支払額	△2,974	△2,135
法人税等の支払額	△26,069	△25,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,426	△437,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△2,910
無形固定資産の取得による支出	△2,448	△1,480
投資有価証券の取得による支出	△771	△791
投資有価証券の売却による収入	—	186
営業譲受による支出	△60,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△53
貸付けによる支出	△88	—
貸付金の回収による収入	19,171	64,692
敷金の差入による支出	△77	△1,815
敷金の回収による収入	50	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,213	58,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,000	△195,000
長期借入金の返済による支出	△30,927	△21,630
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,520	△2,520
株式の発行による収入	—	1,925,000
自己株式の取得による支出	△77	△53
配当金の支払額	△91,096	△105,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,621	1,600,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,112	905
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△150,521	1,221,943
現金及び現金同等物の期首残高	815,191	488,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	664,670	1,710,152

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月28日付で、RIZAPグループ株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が962,500千円、資本準備金が962,500千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,937,570千円、資本剰余金が1,236,152千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠捺糸事 業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	1,094,100	294,103	1,181,986	877,994	3,448,185	2,450	3,450,635	—	3,450,635
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	818	—	—	—	818	12,600	13,418	△13,418	—
計	1,094,918	294,103	1,181,986	877,994	3,449,003	15,050	3,464,053	△13,418	3,450,635
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	2,836	12,517	△11,305	62,316	66,364	2,201	68,566	△62,575	5,990

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及びブランドデザイン企画業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△62,575千円には、セグメント間取引消去48,414千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,989千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	983,855	280,598	1,521,275	995,708	3,781,436	—	3,781,436
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	983,855	280,598	1,521,275	995,708	3,781,436	—	3,781,436
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△16,549	12,483	77,735	67,776	141,445	△113,508	27,936

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△113,508千円には、セグメント間取引消去22,154千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,663千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 洋装事業の棚卸資産が前連結会計年度の末日より789,980千円増加しております。
4. 「その他」に区分していたブランドデザイン企画業は、平成29年6月26日付で全株式を売却しております。また、人材派遣事業は重要性が乏しくなったため、「調整額」に含めております。